

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2009年3月6日 No. 18

3・1ピキニデー成功で2010年に向けてスタート!

日本原水協全国集会 1200 人

3・1ピキニデー集会 1600 人参加

被災55周年・2009年3・1ピキニデー集会が2月27日から3月1日まで静岡市と焼津市でひらかれました。

ピキニデー集会は、原水爆禁止運動の契機となったピキニ二事件を学ぶとともに、各地の教訓を学びあい8月の世界大会をめざす活動の運動のスタートとなる全国決起の集会でもあります。

今年は、原水協集会・ピキニデー集会とも参加者が多く、2010年NPT再検討会議に向けた活動の決起の集会となりました。分科会の感想文から一部を紹介します。



「核兵器と人類は共存できない」という言葉を何十回も聞き、「核兵器をなくす事は、究極の目標ではなく、現実の目標になって世界の主流になっている」という言葉をも多く聞いたことです。「核兵器なくそう」ということについては、地元でも2005年から青年で実行委員会を作り、毎年数人の若い人を地域で署名と募金をいただき世界大会に送っていますし、自身も06年の広島の世界大会に参加して、被爆者の声を聞いたりしてきましたが、今回のピキニデーで改めて分からなかったことを聞き、身に付けられたと思いました。ピキニ二事件も大きく知らせていきたいと思っています。(富山、男、36才、民青、初参加)

ピキニのことは大まかなことしか知りませんでした。今年は土日だったことと、ちょうど予定が空いていたので参加を決めました。千葉からはバスを出して青年同士で行ったのですが、バスの中で「その時歴史が動いた」を見て、原水禁世界大会がはじまるきっかけとなったこと、女性が運動の中心だったことを知りました。生活から出る要求は連帯を生み、力になり、世の中を動かすということ、いつの時代も女性は強いことを知りました。久保山さんのお墓を見ながら、二度とヒロシマ・ナガサキ・ピキニを繰り返してはいけないと思いました。(千葉、女、28歳、全教千葉、初参加)

私は今回初めてこの3・1ピキニデーに参加させていただいたのですが、いままで知らなかったことが多く、驚きの連続でした。正直会場に着くまでは、ピキニデー集会はどこか遠くのこのように感じていました。それはいままでこのような集会に参加したことがなく、テレビや新聞などで見るだけでした。それは傍観者だったからです。ところが会場に着いてみて大変驚きました。会場を埋める全国各地からの参加者たち。私の知らないところでこんなにも多くの方が、行動されていたということを知り、いままで何も行動してこなかった自分が恥ずくなりました。今回参加して収穫だったことは、自分の無知を知ることができたこと、たくさんの仲間が全国にいることがわかり、行動する勇気ももてたこと、ヒロシマ以外の視点から核の問題を考えることができたこと、実際に自分の足で歩いて見なければわからなかったことがわかったこと の4点でした。これからもこのような行動に参加し続けて行きたいです。まずは8月までに、1000人署名を目指します。(福岡、女、21、平和委員会、初参加)

私は最近平和に関する活動を始めたばかりでまだ知識もありません。正直、今後こういう活動をするのを悩んでいました。けれど、今日色々なお話を聞いたりして、今後もやっぴいこう！と決意することが出来ました。まだまだどうしたらいいのかわからないことも多いですが、まずは知ることから始めて、小さなことでもコツコツとやっぴいきたいです。(埼玉、女、17歳、平和ゼミ、初参加)

はじめての参加ですが、余りの多数の参加者でおどろきました。若い人達が参加されており、また楽しい未来ある発言をされていたことに感心しました。後継者問題でどこも困っている様子が聞き取れました。長岡原水協も同じ課題をもっています。NPT会議成功の為、署名に頑張りましょう。(新潟、男、62歳、長岡原水協、初参加)

発言させていただきましたが、ハイヤーの運転手をしています。低所得の職場です。若い方々の発言が多い方だと思われつけられました。感心が薄れているという声もありましたが、平和勢力も一生懸命でしょうが、戦争勢力側も必死だと思います。敵はお金もたくさん使います。しかし、国民を信頼して、全体集会でも出てましたが右翼も左翼もない、「仲翼」平和をめざしましょう。(北海道、男、59才、十勝原水協、初参加)

平和行進または平和集会を行政主催で企画させるように要望したらどうか。非核宣言都市をしているところは、とくに粘り強く要求していったらどうだろうか。イギリスのブライトンでは数十名のヒロシマデーの集いに女性市長が参加して、メッセージを寄せていた。行政との協力、協同を大事に！私はブラジルやイギリス、アメリカで平和行進に参加して楽しい、面白い行進やパフォーマンスを目にしてきた。高知のよさこい祭りのように、トラックの荷台にバンドと歌手を乗せて、にぎやかに先導していったらいいのではないか。去年久しぶりに網の目行進を復活させたので、今年もっと早くからとりくんで、各地のやり方を参考に、多くの人に参加してもらうよう工夫したい。(熊本、男、62、熊本原水協、初参加)

経済発展、環境保護の面からも平和の大切さを考えることができよかつた。「スーツ姿の人」にどう署名してもらうか。「9条があるから」「戦争はイヤだから」だけではなく、くらしや産業の面からも核兵器廃絶、平和の道へ進むほうが「なるほど利にかなっている」と、みんなが思うようになるように知らせていく、世論を広げることが大切だと思ふ。(高知、男、47、医療生協労組、初参加)

グループトーク、人数が少なくとても話しやすかつた。安齋先生の「過去に現在を見、現在に過去を見る」を、こころしてゆきたいと思つた。また歴史をきちつと知ること。(鳥取、女、58、新婦人、初参加)

初めて参加させていただきました。多くの方が色々な思いを持って参加されておられ勉強になりました。いま、100年に一度の不況と言われ、多くの労働者が職を失っています。政府、政治にいま、みんなが団結して声をあげるべきだと思ふます。核兵器に対しても多くの方々と連帯し、廃絶に向け頑張りたいたいと思ふます。7月には「網の目平和行進」、8月には世界大会に参加します。(大阪、男、46才、大阪いずみ市民生協労組、初参加)



著名人顔大判幕を車にデコレーションして宣伝
2009年3月2日、岡山・高梁原水協

高梁原水協 12人が参加して署名統一行動

岡山・高梁原水協は3・1ピキニデー直後の3月2日、JR高梁駅前て「核兵器のない世界を」署名行動を行いました。この行動には6団体から12人が参加、市民、駅利用者に署名を呼びかけました。三村代表が「みなさんからいただいた署名を持って、みなさんの代表が国連に届けます」と訴えよると、青年が「がんばってください」と署名に応じてくれるなど、約1時間の行動で42筆の署名と、550円のカンパが寄せられました。

著名人顔署名用紙の大口注文も

3・1ピキニデー後、署名用紙の注文が寄せられています。1000枚を超える注文があつた県は神奈川(2万枚)東京(1万枚)高知(5000枚)長野(2500枚)沖縄(2000枚)岐阜、福島(1000枚)です。沖縄原水協からは、署名用のぼり10本、カラーリーフ5000枚の注文もありました。